

1 単元名「変わるわたしたちの暮らし～昔の道具と暮らし～」

2 単元について

- ・小学校学習指導要領解説社会科編の第3学年の内容(4)を扱った単元である。お年寄りの方への聞き取り調査や資料などで調べたことを年表にまとめることを通して、時間の経過に伴い生活で使う道具が変化し、市や人々の生活が移り変わってきたことを理解すること。また、生活の道具の変化を相互に関連付けたり、市の様子の変化と人々の生活の変化を結び付けたりして表現することをねらいとしている。
- ・「わたしたちの住むまちはどんなまち」では、建物の種類や数、自然の多さ、交通や人の量等に着目しながら探検し、それぞれの地区の特徴をまとめたり紹介したりすることによって「釧路市」の特徴を捉えてきた。また「工場働く人と仕事」では、「よい工場とは何か」という疑問を明らかにするために、教科書・副読本・図書室の資料を用いて調べたり、日本製紙釧路工場を見学したりすることを通して、「環境」「働く人」「地域の特色」等の視点に着目しながら疑問を追究し、考えを表現してきた。
- ・本単元では、昔から現在に至る道具の変化について、実物や写真等の資料やお年寄りへのインタビューを活用し、年表に表すことを通して、暮らしに関わる道具が人々の思いに合わせて変化してきたことや、今も昔も人々の思いや工夫に合わせた暮らしのよさがあることを捉え、これからの暮らしの変化についても考えることができるようにする。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子について、お年寄りにインタビューしたり資料を使って調べたりしたことを年表にまとめ、わかったことを比較しながら、人々の思いと暮らしの変化を関連付けて考え、表現することができる。

(2) 単元の評価規準

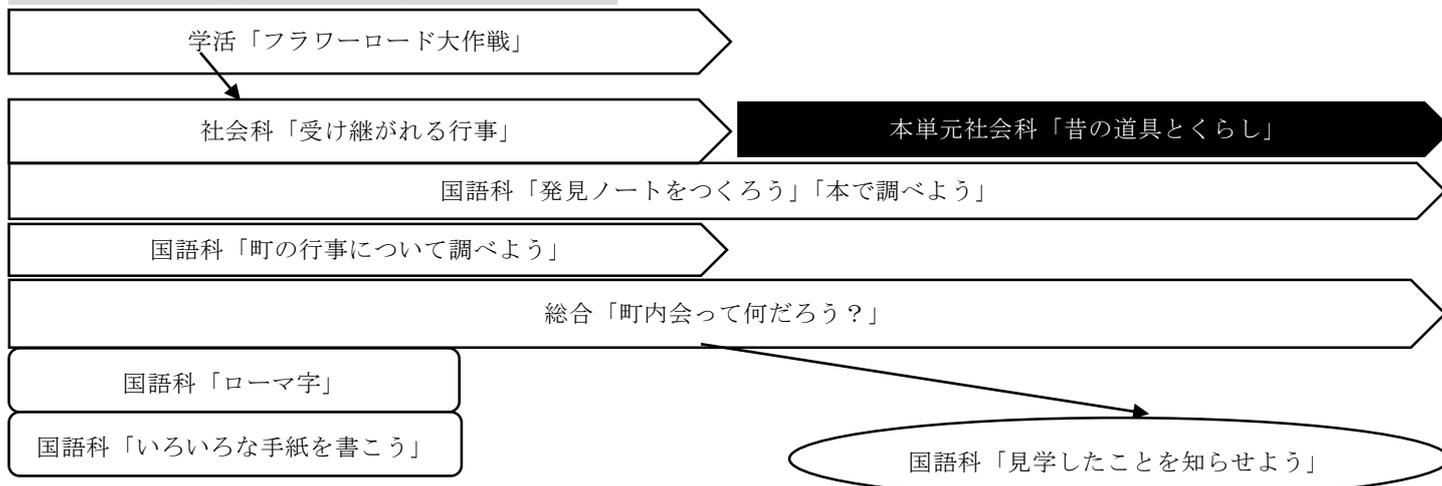
知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
ア 昔の道具について観察したり、インタビューしたりして集めた情報を年表にまとめ、昔と今の道具の違いに気づき、道具が変化してきたことや、それにもなつて人々の生活も変化してきたことを理解している。	ア 調べたことを基に昔の道具の共通点や今の道具との違いを比べながら考え、道具の変化とともに人々の生活も変化したことについて表現している。	ア 昔の道具やそれらを使っていた頃の人々の生活の変化に関心をもち、道具や生活の変化が、より快適で便利なものへの思いが基になっていることをとらえ、これからの生活の変化に目を向けている。

4 本単元において育みたい資質・能力

現代と昔を比較する活動を通して、社会的事象の特色や相互の関連について思考・判断したことを説明する力を育む。

社会科「受け継がれる行事」では、「なぜ、『おみこし』などの伝統的な行事が今でも続けられているのか」という学習問題を位置付けて、子供に予想させながら資料を活用し、情報を集めて問題解決に取り組むことで、祭りの保存・伝承には地域の人々の努力があることを知り、人々の知恵や工夫・願いに着目する力を育んできた。また、「お祭りはこれからも残していくべきか」という問いについて、国語科「町の行事について調べよう」との関連を図ることで、問いに対する自分なりの考えを調べたことを基にまとめ、自分が考えたことを説明する力も育んできた。同時に、総合「町内会って何だろう？」では、「町内会」という地域におけるコミュニティの役割や意味について予想しながら資料を活用して情報を集め、問題解決に向けて取り組むことで、人々の知恵や工夫・願いに着目しながら考える力を習得できるようにしてきた。本単元では、昔から現在に至る道具の変化や暮らしの変化について資料を活用して情報を集めることに加え、道具や暮らしの変化に込められた「人々の願いや工夫」などについて当時の暮らしを経験しているお年寄りへのインタビューも行い、昔と今の道具や暮らしを比べることを通して、暮らしに関わる道具が人々の思いや願いに合わせて変化してきたことや、今も昔も人々の思いや工夫に合わせた暮らしのよさがあることを捉え、「今の暮らしは本当に便利なのか？」という問いについて、他単元で育んできた力を発揮し、自分なりの結論を表現する力を育てるようにする。

5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



6 単元計画（全12時間）

	○子供の主な学習活動 □教師の主な働きかけ	子供の思考	評価
1	<p>○昔のくらしと今のくらしのちがいについて考える。</p> <p>□昔の家のくらしがわかるイラストを提示する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・木で作られていて、すきまもあって寒そうだ。 ・木で作られているから、すぐにこわれそうだ。 ・昔の道具は使いにくそうだから、不便だ。 </div> <p>□今のくらしは本当に便利なのか問う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんの家に行ったら寒かったから、今の方がくらしやすい。 ・昔の道具は手間がかかりそうだから、多分、今の方がくらしやすい。 ・今の道具の方がボタンでできるから便利だ。 ・昔の道具は使ったことがないからわからないけど、絶対とは言いきれない。 ・昔の道具について調べてみないとわからない。 </div>		学ア
昔の道具について調べてみよう（今のくらしは本当に便利なのか？）			
2	<p>○昔の道具の写真を見て、昔の道具の使い方について考える。</p> <p>□昔の道具の写真を掲示し、今の道具で言うとどれに当たるのか考えさせる。</p>		知技ア
3	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> (1)</div> <div style="text-align: center;"> (2)</div> <div style="text-align: center;"> (3)</div> <div style="text-align: center;"> (4)</div> <div style="text-align: center;"> (5)</div> <div style="text-align: center;"> (6)</div> <div style="text-align: center;"> (7)</div> <div style="text-align: center;"> (8)</div> <div style="text-align: center;"> (9)</div> <div style="text-align: center;"> (10)</div> <div style="text-align: center;"> (11)</div> <div style="text-align: center;"> (12)</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・(1) これは洗たく板だから昔に使われていたものだ。 ・(2) これは火ばちかな？エアコンの仲間かな？オープンレンジの仲間かな？ ・(3) このやかんみたいのは何かな？形が似ているからアイロンかな？ ・(4) これは本で読んだことがある。ご飯を炊く物だから炊飯器の仲間だ。 ・(5) 砂みたいのが入っている。火を使うなら電気の仲間かエアコンの仲間かな？ ・(6) これは何だろう？何に使うかわからない。この中に仲間があるのかな？ ・どの仲間の道具か調べないとわからない。 <p>○昔の道具を図書資料で調べる活動を通して、昔の道具に関する情報（名前・使い方・時代など）を集める。</p> <p>□わからない情報（調べる内容）を確認し、図書資料を用いて調べるよう促す。</p> </div>		

4	<p>○昔の道具について調べたことを交流し、使い方について理解する。 <input type="checkbox"/> 2時間目に提示した昔の道具の写真を再提示し、調べて「わかったこと」「まだわからないこと」を板書で整理する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">       </div> <p>(1) (2) (3) (4) (5) (6)</p> <p>「わかったこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)は、やはり洗たく板とたらいだった。水とせっけんを使って洗うことがわかった。 ・(2)は、火ばちではなく七輪だった。火を使うことがわかった。空気を入れる穴もある。 ・(3)は、炭火アイロンという名前だった。炭を入れて使う。 ・(4)は、はがまとかまどだった。薪で火加減をして、ご飯を炊いたりお湯を沸かししたりしていた。 ・(6)は、しょく台という名前だとわかった。ろうそくをさして明かりとして使った。 <p>「まだわからないこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2)は、エアコンの仲間かオープンレンジの仲間かはっきりしなかった。 ・(3)は、どうやって炭を使うのかまではわからなかった。実物を見ないとわからない。 ・(5)は、火ばちかいろりかどっちだろう？写真や本だと大きさがわからない。 	知技ア
5 6	<p>○「わかったこと」「まだわからないこと」を確かめるために、昔の道具を見たり、触ったり、使ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板の使い方を調べていたのに、泡ですべて洗いにくかった。 ・洗たくは実際にやってみると、水が冷たいし手が疲れて大変だった。 ・たらいの水を何度も替えるのは手間と時間がかかる。 ・はがまは、今の炊飯器と形が似ていて、思っていたよりも軽かった。 ・しょく台は、少し傾いてもろうそくがまっすぐになるようになっていて驚いた。 ・炭火アイロンは、ふたを開けて炭を入れて使うことがわかった。 ・(5)は持ち運びができるから火ばちだとわかった。 <p>○昔の道具は、今の自分たちにとって使いやすいか評価する。 <input type="checkbox"/> 昔の道具は便利と言えるのか問う。</p>	知技ア
7	<p>○昔の道具の使いやすさについて昔の人の立場になって考える。 <input type="checkbox"/> 昔の道具に対する自分たちの評価が、昔の人にとっても適切と言えるかを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板だと洗いにくいけど、昔の人は正しく使えていたと思う。 ・洗たく板だと水が冷たくて手が疲れるけど、昔の人にとってはそれが当たり前だったと思う。 ・しょく台は便利だと思うけど、小さいから暗かったんじゃないかな？ ・炭火アイロンは、便利に使えていたのかな？ <p><input type="checkbox"/> 評価が適切かどうかをどのような方法であれば確かめられるのか問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館で調べたらわかるかもしれない。 ・お年寄りや博物館の人に聞いてみたら、使い方がわかると思う。 ・使ったことがある人に、便利だったのか聞いてみたい。 	思ア
8	<p>○インタビュー活動を行い、インタビューで得た情報を整理する。 <input type="checkbox"/> インタビューで得た情報をもとに、6時間目で行った自分の評価が適切であったかを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板のへこみは、石けんを置くためだと聞いた。工夫されていることがわかった。 ・七輪や炭火アイロンにある穴は、火の調節のためだとわかった。考えて作られている。 ・昔は今みたいに鉄板がなかったと言っていたから、焼いたり沸かししたりできる七輪は便利だ。 ・しょく台は、手で持って使うだけではなく、置いても使えることがわかったので便利だ。 ・炭火アイロンよりは、こてという道具を使っていた。それよりは便利だ。 	知技ア
9	<p>○評価した内容をもとに、当時の人のくらしの様子について考える。 <input type="checkbox"/> 昔の道具について、同じ道具でも「便利」と「不便」があるか問い、生活環境と関連付けながら板書する</p> <p>「便利」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板は、使いやすいように工夫されているから便利だ。 ・昔は今みたいに電気がなかったから、七輪や炭火アイロンは便利だ。 ・火ばちは、温まったりお湯を沸かしたり両方できるから便利だ。 ・昔の人にとっては、その前の時代と比べると昔の道具は便利だった。 <p>「不便」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板は、水が冷たくて時間や手間もかかるから不便だ ・炭火アイロンや七輪は、炭を起こさないと使えないから不便だ。 ・火ばちだけだと寒いから、今から見たら不便だ。 	知技ア
10 本 時	<p>○道具が変化してきた理由について考える。 <input type="checkbox"/> 道具の移り変わりがわかる写真を提示し、変わる必要があったのか問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の物は時間がかかるのが当たり前だったけど、もっと早くできるようにしたかった。 ・手間がかからないようにしたかったから。 ・より安全に使えるものにしたかった。 	思ア
11	<p>○市の様子が変化した理由について考える。 <input type="checkbox"/> 昔のまちの様子と今のまちの様子を提示して比較する活動を行う <input type="checkbox"/> 道具の普及率や売上げなどわかるグラフの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や建物が増えているから、住んでいる人も増えた。 ・人が増えたから、鉄道も作られた。 ・道具が便利になったから、いろいろしができるようになった。 	思ア 学イ

12	<p>○これからのくらしの変化について考え表現する。</p> <p>□学習したことをもとに、道具やくらしの変化に着目しながら年表にまとめる活動に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none">• 道具が進化して手間が減ったから、もっと時間が短くなるような道具がいい。• 今みたいに便利で、お金もかからないような道具がいい。• 昔は子供だと危険な道具もあったけど、子供でも使いやすいような安全なものがいい。	思イ 学イ
----	---	----------

7 本時について（10 / 12 時間目）

（1） 本時の目標

昔の道具について調べてきたことを基に、道具が変化してきた理由について考え、当時の人々の思いや願いと関連付けて表現することができる。

（2） 本時の展開

<p>□教師の主な働きかけ・手立て ○子供の主な学習活動 子供の思考</p>	<p>【評価】 個に応じた指導（▲）</p>
<p>□昔の道具と当時の人々のくらしの様子を想起し、年表に整理する。</p> <p>□道具の移り変わりがわかる写真を提示し、なぜ変わる必要があったのかを問う。</p> 	<p>【発言】 調べてきたことを基に、道具が変化した理由について当時のくらしの様子と関連付けながら考えている。 ▲道具を評価した根拠を想起させ、昔の道具やくらしの特徴を確認する。</p>
<p>○前時までに学習したことを基に、なぜ道具が変わる必要があったのかを考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗たく板は汚れを落とせるけど、1枚ずつしか洗えなくて時間がかかるから、早く洗たくできるようにしたかったから洗たく機ができた。 ・炭火アイロンや七輪は炭を起すのに手間がかかるから、電気を使うようになったと思う。 ・はがまを使うには薪が必要だから、もっと楽にご飯の準備をしたかったから。 	<p>【ノート】 道具が変化した理由について共通点を見出し、当時の人々の思いや願いと関連付けながら考え、記述している。 ▲年表を基に、昔の道具の便利さや不便さについて想起させ、昔の人の思いや願いを想像させる。</p>
<p>□道具が変化した理由を交流し、共通点を問い、板書で整理する。～★</p>	
<p>○道具が変わったことについて個人で考えたことを基に、道具が変化した理由の共通点を考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は電気がなかったから仕方ないけど、昔の人は火を使わないで安全に使えるようにしたかった。 ・昔は炭を使うのが当たり前だったけど、昔の人はわざわざ起こさなくてもいい（手間がかからない）ようにしたかった。 ・どの道具も時間がかかるから、昔の人はできればすぐに使えて時間がかからないようにしたかった。 	
<p>□道具が変わる必要があったのは、昔の人にとってだけかを問う。 (必要に応じて、今も使われている100円ショップで売られている洗たく板を提示し、未来はどのように道具が変化すると思うのかを問う。)</p>	
<p>○道具が変わったことについて個人で考えたことを基に、誰のために道具が変化したのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が使うとしても、今は家の中で炭火を使ったら危ないよ。 ・お母さんが洗たくをするときに、こんなに時間や手間がかかったら大変だよ。 ・自分が使うときも、大変だからやりたくないよ。 ・昔の道具がいい人もいるけど、みんなが使うのは無理だよ。 	
<p>道具は、使う人の思いや願いがあって変わる必要があった。</p>	
<p>□「今のくらしは本当に便利なのか？」を問う。</p>	